

新ファームウェア リリースノート(R1721)

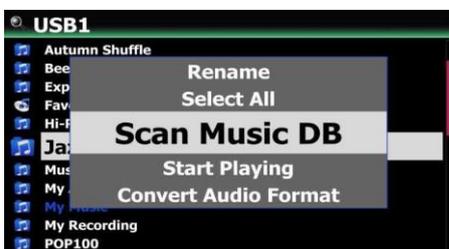
- ① 公開日:2021年 11月 12日
- ② 新しいファームウェアのバージョン : R1721
- ③ R1652 から R1721 への変更内容は下記の通りです

※R1530 からアップデートする場合は R1652 のリリースノートも一読お願いいたします。

※また当サイトの別紙 [New MusicDB](#) や [Multi-room\(Group play\)機能](#)も合わせて一読いただくとより理解が深まると思います。

A. 新しい機能

1 New Music DB の完全移行



Music DB が新しくなり仕様が大きく変わりました。(R1652 で適用済)

今までは Music DB に「取り込む」という形で操作していましたが新 Music DB では「読み込む」という方式に変更しました。

このアップデートにより他機器との互換性が飛躍的に向上します。詳しくは別紙([New Music DB](#))を参照してください。

※ファームウェアアップ後、既存の Music DB の音楽ファイルはブラウザの My music フォルダに移動されます。この移動及び Music DB の読み込みは自動で行われ音楽ファイルが多いと多大な時間を要します。(1TB の音楽ファイル分であれば約 3-4 時間かかります)

※WEB サーバーなどでアーティストやジャンルにのみカバーアートを付けている場合、アップデートの際消えてしまう可能性があります。アップデート前にアルバムにもカバーアートを付けることを推奨します。また、アップデート前にバックアップを作成すること強く推奨します。

2 Multi-room (Group Play) 機能



Group Play 機能が追加されました。(R1652 で適用済)

Group Play 機能を使えば、同一ネットワーク上の複数のカクテルオーディオを使い同じ曲を複数台同期させて再生することができます。詳しくは別紙 [Multi-room\(Group play\)機能](#)を参照してください。

3 新説明書

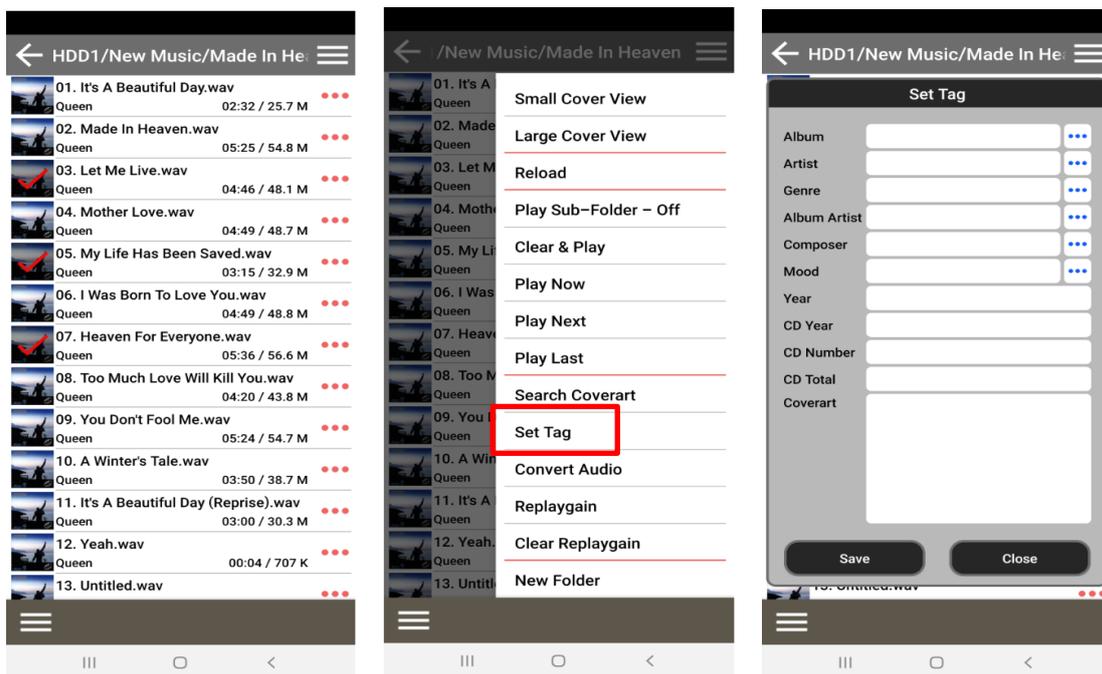
上記の変更により説明書を一新致しました。ダウンロードサポートから製品マニュアルをダウンロードしてご覧ください。

※Gracenote の更新手続き案内も作成しました。別紙([Gracenote 更新手順](#))を参照してください。

4 タグ設定機能

※注意:この機能は、MusicX NEO バージョン 1.0.18 以降およびデバイスファームウェア R1721 以降で正常に動作します。MusicX NEO(1.0.18)は AppStore と Play ストアで入手できます。MusicX NEO(1.0.20)は後日 AppStore 等でダウンロード(アップデート)することができます。

- ・現在のフォルダ内の音楽ファイルのメタデータ(タグ)をまとめて変更する機能です。
- ・この機能はブラウザのみ行えます。
- ・フォルダ内に選択された音楽ファイルがある場合は、選択された音楽ファイルのみが変更され、右上部分の三からタップして、すべての音楽ファイルがまとめて変更されます
- ・入力ウィンドウ(Set Tag ウィンドウ)が開いているときは、すべての項目が空白です。
入力した項目をまとめて変更できます。
- ・アルバム、アーティスト、ジャンルなどをアルバム単位でメタデータ(タグ)を変更できます。



5 バックアップ/リストア機能

新しい Music DB でもバックアップとリストアを行うことができるようになりました。



5-1 バックアップ

①ホーム画面から設定→Music DB→Music DB のバックアップを選択します。

②バックアップしたいストレージを選択します

③Backup Start を選択しバックアップを開始します。

④バックアップオプションを選択できます(上書き(Overwrite) またはスキップ(Skip))

-上書き: 同じ既存のファイルを上書きします

-スキップ: 同じファイルがスキップされます

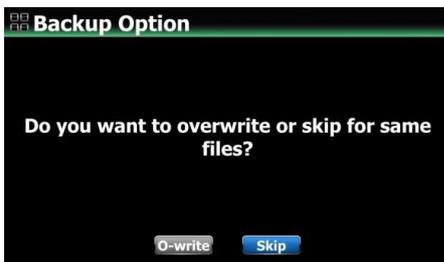
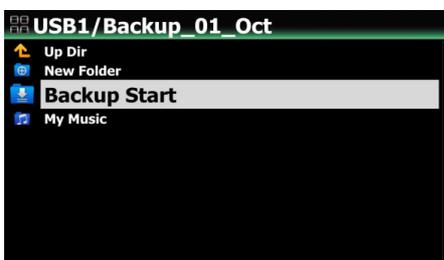
⑤次にバックアップ後のオプションを選択します

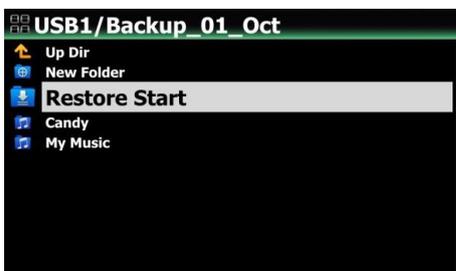
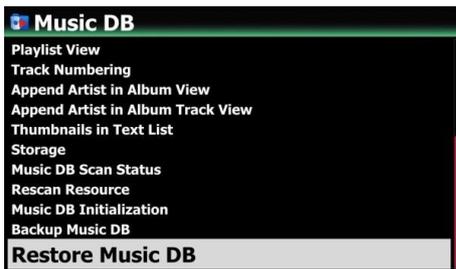
-Yes: バックアップ後、デバイスは自動的にシャットダウンします

-No: バックアップ後、シャットダウンしません

※バックアップはフォルダ単位で行います

各フォルダは、ツリー構造を維持しつつ、すべてのサブフォルダを含めてバックアップされます





5-2 リストア

①ホーム画面から設定→Music DB→RestoreMusic DB のを選択します。

②Full restoration と Partial resutoration のいずれかを選択します。

※Full restoration: 選択したストレージ(フォルダ)内のすべてのバックアップサブフォルダがメインストレージ(緑色のストレージ)に復元されます。

-バックアップストレージの My Music 内のデータは、メインストレージ(緑色のストレージ)のマイミュージックフォルダに復元されます

Full restoration 終了後、デバイスは再起動します。

1) Full restoration を選択した場合

①リストアするストレージまたはフォルダを選択します。

②「Restore start」を選択して、上書きまたはスキップのオプションのウィンドウを開きます。

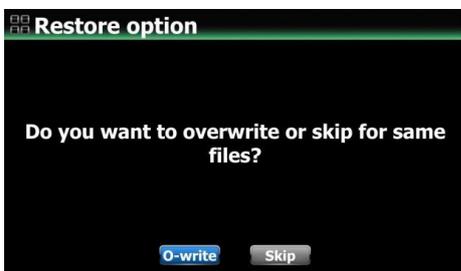
③「O-write」または「Skip」を選択して復元を開始します

※Full restoration 後、自動的に再起動します

※ すべてのバックアップフォルダは、メインストレージに復元されます(緑色のストレージ)

各フォルダは、バックアップと同じように、サブフォルダを含む同じツリー構造で復元されます。





①ホーム画面から設定→Music DB→RestoreMusic DB のを選択します。

②Full restoration と Partial resutoration のいずれかを選択します。

※Full restoration: 選択したストレージ(フォルダ)内のすべてのバックアップサブフォルダがメインストレージ(緑色のストレージ)に復元されます。

-バックアップストレージの My Music 内のデータは、メインストレージ(緑色のストレージ)のマイミュージックフォルダに復元されます

Full restoration 終了後、デバイスは再起動します。

1) Full restoration を選択した場合

①リストアするストレージまたはフォルダを選択します。

②「Restore start」を選択して、上書きまたはスキップのオプションのウィンドウを開きます。

③「O-write」または「Skip」を選択して復元を開始します

※Full restoration 後、自動的に再起動します

※ すべてのバックアップフォルダは、メインストレージに復元されます(緑色のストレージ)

各フォルダは、バックアップと同じように、サブフォルダを含む同じツリー構造で復元されます。

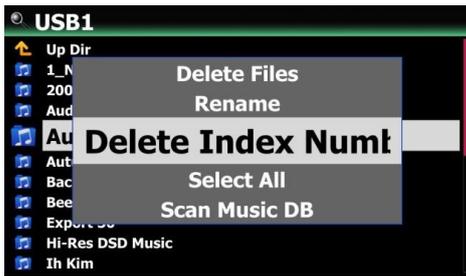
6 [000020]のようなインデックス番号を削除する機能

以前のファームウェア (R15XX) を新しい Music DB のファームウェア (R16XX 以降) で更新するとき、アルバム名の前に表示されるインデックス番号 (例: [000020]) を削除できるようになりました。



①削除したいインデックス番号のアルバムフォルダにカーソルを合わせます。

※リモコンの十字キー右や Menu ボタンから「すべてを選択する」を選ぶことで複数選択することができます



- ②MENU キーを押してメニュー画面を開きます
- ③「Delete Index Number」を選択して削除します。



7 New Music DB のアルバム/曲などを削除する機能



- ①削除したいアルバムにカーソルを合わせます。
- ②MENU キーを押してファイルオペレーションを選択します。
- ③「削除」を選択して次のステップに進み、削除します。

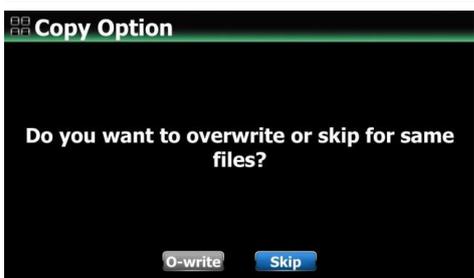
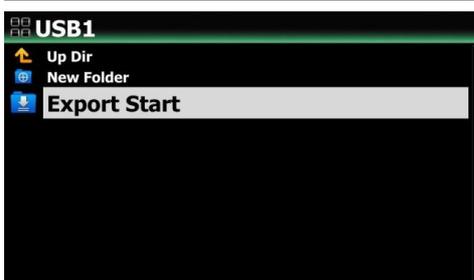
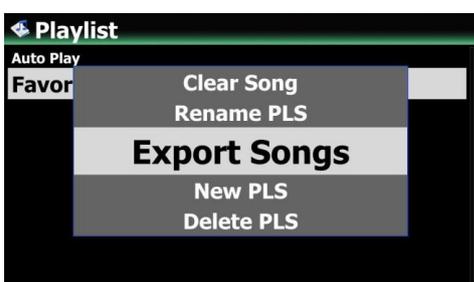
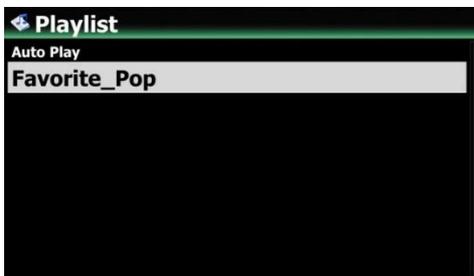


- ※「リモコンの十字キー右」で複数のアルバムを選択できます。
- 複数選択したい場合はリモコンの TEXT/ART ボタンかホーム画面→設定→Music DB から該当する表示部分をテキスト表示に変更してください(初期設定ではアルバム表示です)



8 プレイリスト出力機能

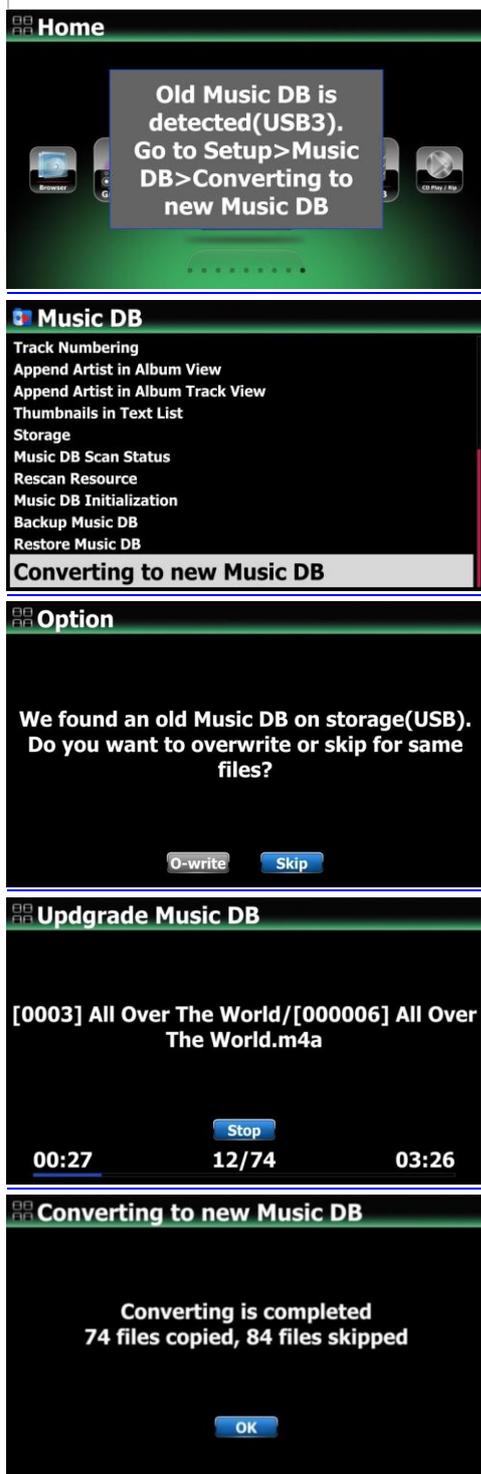
音楽プレイリストを USB メモリーなどに外部出力できるようになりました。



- ①エクスポートしたいプレイリストを選択します。
- ②MENU キーを押して「Export Songs」を選択します。
- ③出力したい外部接続機器(USB メモリーなど)を選択します。
- ④「Export Stasrt」を選択します。
- ⑤「O-wrtite(上書き)」または「Skip(スキップ)」を選択して出力を開始します

9 「古い音楽 DB データ」を「新しい音楽 DB データ」に簡単に変換する機能

以前の Music DB データが存在する USB ストレージがあり、USB ストレージが Music DB ストレージとして設定されていない場合に、古い Music DB データを新しいミュージック DB データに変換する機能です。



①古いミュージック DB データが存在する USB ストレージを挿入すると、左のようなメッセージが表示されます。

②ホーム画面→設定→Music DB から Converting to new Music DB を選択します。

③同じファイルを上書きするかスキップするかを選択します。

④O-write と Skip のいずれかを選択して、変換を開始します。

③以前の Music DB から変換したファイルは、メインストレージの「My music」フォルダに保存されます。

※注:メインストレージとは、設定で MusicDB ストレージとして設定されたストレージを意味します。メインストレージはブラウザで緑色に見えます。

B. 改善点

- 1 CD のリップング時にデバイスが自動的に再起動したり、フリーズしたりすることがあるバグを改善しました。
- 2 Google、Amazon、Bing などのカバーアートサービスが再び機能するように改善されました。
7digital などカバーアート検索ができないサイトを削除しました。
- 3 デバイスで動作するように「チェリーキーボード」を改善しました。
- 4 工場出荷時のリセット時に「Factory Reset Succeeded」を表示せずに自動的に再起動する時がある症状を改善しました。
- 5 電源を切る際に、画面下部の約 2/3 が黒く表示される問題を改善し約 1 秒後、消灯するように変更しました。
- 6 Spotify Connect の再生時に、カバーアートと曲が一致しない不具合を改善しました。
- 7 Roon でプレイすると、各曲のカバーアートが正しく表示されない問題を改善しました。
- 8 MQA ファイルの再生時に発生する遅延を改善しました。
- 9 DAB + / FM ラジオの再生時に時刻が正しく表示されない(+11 時間程)問題を改善しました。
- 10 Airable i-Radio を再生する際の右下に表示されるシャッフルモードアイコンを信号強度アイコンに変更しました。
- 11 デジタル出力/アナログ出力の音量が「固定」に設定されているにもかかわらず、音量つまみを回すと画面が変わる問題を改善しました。
- 12 Deezer 'Flow' を再生する際に、10トラックを連続で再生してしまう問題を改善しました。
- 13 OSD 言語(日本語)の改善を行いました。
- 14 iOS デバイスで MusicX NEO を使用する際、音楽の再生中に Next または他の曲を再生すると「PlayTimeBar」が非表示になる問題を改善しました。
- 15 タグ情報を表示するときにローカルコード文字列を処理するように改善されました
- 16 RIFF (wave)ファイルの非標準タグメソッドでメタデータを格納するファイルを処理するように改善されました
- 17 UPnP を介した際の外部ストレージが接続されているときにジャンル、アルバム、またはアーティストフォルダを開くことができない問題を改善しました。
- 18 古い Music DB(~R1530)から新しい Music DB(R1652~)へ更新した際に、作成されたプレイリストが消える問題を改善しました。
- 19 Airable、Deezer のロゴが置き換えられました
- 20 HDMI ケーブルを X50Pro に接続した際、スクロールノブの動きと画面上の結果が同期なくなる問題を改善しました。
- 21 Music DB サイズが大きい場合のアルバムのリストアップの速度上昇の改善を行いました。
- 22 「デジタル出力ボリューム」と「アナログ出力ボリューム」が連動する問題を改善しました。
- 23 Tidal、Amazon などセキュリティ強化のため 2 重ログイン制に変更されました。そのため、MusicX NEO からログインする必要があります。